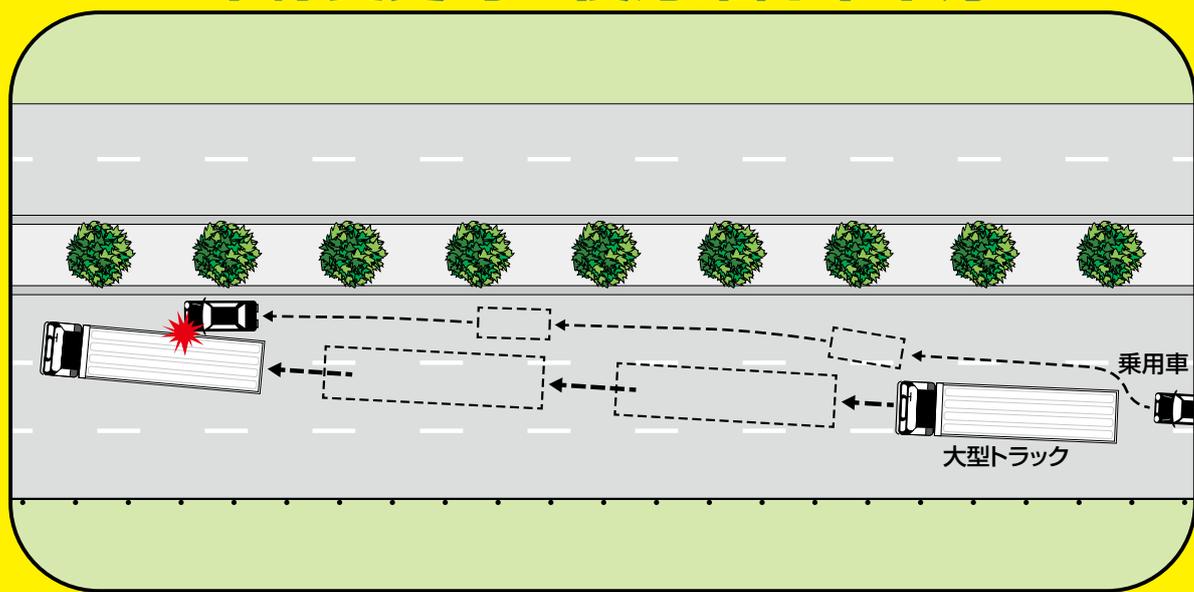


大型トラックと乗用車の同時進路変更 ～車線変更時の後方確認不十分～



どのような場所か…

片側3車線の国道。
ほぼ直線で見通しが良い。

どのような事故か…

高速道路インター出口から、国道に出た大型トラックの後方に乗用車が続いて走っていた。

乗用車は、大型トラックを追い抜こうと第一車線から第二車線へと進路変更した時に、同じタイミングで大型トラックも進路変更を始める。

更に、乗用車は右折するため第二車線から第三車線へ進路変更し、大型トラックを右から追い抜こうとした。

大型トラックも同じように第三車線へと進路変更を行い接触事故となった。

原因は……

大型トラック：車線変更時の後方確認不十分
乗用車：先行車両に近い位置での進路変更

この事故を防ぐためには…

後方確認と車間距離保持

大型トラック

車線変更時に、後続の乗用車が自車の車線変更する車線にはいないだろうという予測のもと、十分な後方確認を怠った。

乗用車

大型トラックとの車間距離が5～10mくらいと近く、先行車の突然の動き、または想定外の動きに対して十分な対応ができなかった。

また、自車の方へは寄って来ないだろうという気持ちが危険回避動作を遅らせた。



《事故防止上の注意点》

車線変更時は先行車両・後方車両を十分に確認！

- 後方の車両は死角により見えない位置に存在する可能性がある。日頃から死角を意識して運転をする。
- 先行車との車間距離は十分に保ち、危険回避できる様にする。
- 車線変更時には他車の動きを予測せず、動きを視認する。



事故事例ニュース

第278号

四国交通共済協同組合
安全対策部
坂出市番の州公園6番6号
(安全対策部直通)
0877-85-7992
電話0877-44-4416代

予測した相手の動きをおお外れ